

謹賀新年

市民の皆様には、
平成29年の新春を健やかにお迎えのことと、
心からお慶び申し上げます



地方分権時代にふさわしい 「議会力」の向上に向けて

南島原市議会 議長 中村 一三

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。年頭に当たり、南島原市議会を代表いたしまして謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

南島原市も合併から10年が過ぎ、合併で優遇されてきた地方交付税についても、昨年から段階的に縮減が始まり、平成33年度からはいよいよ優遇措置がなくなるなど、ここ数年間、本市において大変重要な時期と捉えております。財政力指数が乏しい本市においては、今後厳しい財政運営を迫られることが予想される中、これからの各種事業推進については、個々のインシャルコストは勿論のことランニングコストを含め総合的に勘案しながら、市政の発展に寄与する事業の推進を図っていくことが必要不可欠であります。

そのような中、本市においては、南島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生実現のため人口減や少子高齢化に対する取り組みを継続的に実施しているところでございます。

さて、昨年は、4月に発生した熊本地震による被害をはじめ、6月の豪雨では公共、農林施設への被害が市内でも数多く発生するなど、市民の皆様生活に多大な影響を及ぼす災害が発生しました。議会においては、市に対し早期に災害復旧に取り組むよう強く要請したところでございます。

次に、世界遺産登録につきましては、昨年2月、日野江城跡が構成資産から除外されるなどの紆余曲折もありましたが、7月

には文化審議会において原城跡が世界遺産の国内候補に決定されました。今後は、名称も新たに「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として、官民協働で平成30年の世界遺産登録を目指してまいります。

一方、国に目を向けますと、TPP（環太平洋経済連携協定）関連法案が昨年12月に成立いたしました。アメリカ合衆国次期大統領選の結果により、その発効が極めて困難な状況などの報道もあるなど先行き不透明な情勢であることから、引き続きTPPの動向に關注していく必要があります。

さて、議会においては、昨年、財政運営での基本となります地方交付税について、今後の動向及び状況などについて研修したことを踏まえ、これからの事業推進と財政運営のバランスについても勘案しながら議会運営をしてまいります。

また、昨年8月に議場放送・映像設備改修工事を実施し、今まで以上に画質と音質が向上し、より鮮明な議場の様子をつたえることができるようになり、新たに質問席を設置するなど、緊張感のある質問・答弁など白熱した論議が展開されております。

今後とも、地方分権時代にふさわしい「議会力」の向上に向け、総合的な議会改革の推進、議会広報紙の充実を図ってまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



思いをかたちに ～次世代へ引き継ぐために～

南島原市長 松本 政博

明けましておめでとうございます。平成29年の輝かしい新春を、ご家族皆様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私が市長に就任して2年が経過しました。その間、いろいろな方々とお会いする中で、本市が直面する課題などを改めて再認識し、その解決に向け、全力で駆け抜けてまいりました。今年も昨年以上に全力で努力したいと思っております。

さて、昨年は本市が誕生して10年の節目の年でありました。節目にあたり、昨年3月に市制施行10周年記念式典を開催し、市政の発展にご貢献いただいた方々を表彰させていただきました。

今後も市民皆様方のご協力をいただきながら、協働として、よりよい市政運営を行っていかなければならないと、気持ちを新たにしております。

また、昨年は市政運営における私の基本理念である「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」が少しずつではありますが形になってきたと実感した年でありました。

例えば、長年取り組んできた防災行政無線の戸別受信機については、今年中には、お届けできるようになりました。

また、本市の農産物などを広く全国にPRするために、ブランド化にも取

り組み、47商品を認定しました。他にも保育料や少子化対策などさまざまな施策に取り組みました。

本年は、これまでの取り組みを一層進めるとともに、平成30年の世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である原城跡や日本のキリシタン史を語るうえで大変重要な日野江城跡など歴史遺産の一体的な整備を進め、ジオパークについても、さらなる環境整備を図ってまいります。

また、認定から1年が経過した、九州オルレ南島原コース（口之津早崎半島）については、新たな資源として期待をしているところです。

この地に住む私たちには当たり前のことが、一歩外から見ると素晴らしい資源ばかりです。

まずは、このことに私たちが気づき、さらに魅力的な資源に磨き上げることが、「住み続けたい」「住んでみたい」まちの実現につながるものと信じております。

少子高齢化が叫ばれる中、ふるさと南島原市を子や孫の世代に引き継ぐために、将来を見据えた施策を積極的に進めていくことが、私の重大な責務だと考えております。

結びに、本年が皆様にとりまして充実した年になりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。